

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・災害避難訓練では、地域の方々へ参加を促して行っているが、実際の参加となると、厳しいのが現状である。また、備蓄(食料品、水等)及び非常時の持ち出し品(個人情報など)が、準備不足となっている。	・突然の災害に備えて、食材の確保と個人情報管理を徹底することによって、避難後の生活も考えた体制を強化することができる。	・食材等については、3日分程度を目安に今後毎月計画に予算をつけ、購入していきます。非常時の個人情報に関し、持ち出し用の入れ物(袋)を準備し、個人情報に関する書類や写真等をまとめられる状況を整えます。	6ヶ月
2	10	・意見箱を玄関に設置したり、運営推進会議の開催また、面会時には、家族とのコミュニケーションを図っている。ただし、具体的な要望や意見を聞き出し、それらを運営に反映させるまでには至っていない。	・より良いホームづくりのために、利用者及び家族等が意見を表出しやすい環境を整備してサービス向上に繋げていくことができる。	・利用者、家族に対しホームの側からアンケート用紙を配布するなどして、意見をもらえる環境を整備して行き、その意見に対し定期的に会議を開き、サービス向上のためスタッフ、管理者また経営者とも協議していきます。	6ヶ月
3	4	・運営推進会議を2ヶ月に1度開催しているが、メンバーに欠席が見られる。また、事業所からの報告が中心となっているために、意見や話題が少なく、サービスの向上までには活かしきれっていない。	・メンバーが欠席される場合も想定して、その他にも地域のことを良く知っていらっしゃる方々も対象にして、メンバーの充実を図りながら、成果ある会議を開催することができる。	・会議出席に関し、調整の徹底を行うとともに、出席者の範囲を広げることを会議に提案しメンバーの充実を図っていきます。また、会議の中で次回の検討事項や介護に関する情報の提供など、内容の幅を広げて行きたいと考えます。	4ヶ月
4	5	・疑問点、分からないことがあれば、市の窓口へ直接出向き相談しているが、協力関係を築くまでには至っていない。	・事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築いていくことができる。	・認知症サポート養成講座の協働などその他にも可能な限り積極的に情報を尋ねながら、取り組んでいく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。